

吉野ヶ里遺跡(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)

ここは吉野ヶ里歴史公園東口の入口ゾーン



正面は歴史公園センター



ここから「天の浮橋」を渡って環濠集落ゾーンへと進む



正面に説明板が立っている



四つのゾーンで構成されている



環濠集落ゾーン/南内郭→北内郭→北墳丘墓、そして古代の森ゾーンへと進む



たてもものとう

ふくげんせいび

建物等の復元整備について

Restoration of Buildings

건물 등의 복원 정비에 관하여

关于建筑物等的复原修整

本公園は、特別史跡吉野ヶ里遺跡の保存及び活用を図るため、遺構全体を土で覆って遺構を保護し、その上に当時(弥生時代の終わり頃)の建物などを復元する整備を行っています。

建物等の復元整備にあたっては、吉野ヶ里遺跡の発掘調査資料だけでは立体的な復元は不可能であったため

◎日本各地の縄文時代～古墳時代の遺跡からの出土資料

◎中国の文献や関連する資料

◎民族(俗)事例

などを参考に、考古学、古代建築学、民族(俗)学、生活史等の専門家からなる委員会で検討していただき、当時の吉野ヶ里の様子を推定し復元を行っています。

したがって、本公園で復元している建物等は、現時点では当時のものに最も近い形で出来ていると考えていますが、この他にもいろいろな意見をお持ちの研究者がおられます。

今後の調査研究により、新たな発見や考え方(知見)があれば修正も必要と考えています。

弥生時代と吉野ヶ里

The Yayoi Period and Yoshinogari

야요이 시대와 요시노가리

弥生时代与吉野里

弥生時代とは、今から1,700~2,300年前、およそ600年間続いた時代です。吉野ヶ里遺跡は、この弥生時代600年間の流れを辿っていける全国唯一の遺跡です。現在復元しているのは、今から1,800年前頃の吉野ヶ里の姿です。みなさん、ゆっくり弥生の世界を楽しんで下さい。

The Yayoi period started 1,700 years ago and lasted for approximately 600 years. The Yoshinogari ruins are the only remains in the nation that allow us to trace the 600 year Yayoi period. The scenes of Yoshinogari of 1,800 years ago have been restored today. Please take your time and enjoy the Yayoi world.

야요이 시대란 지금부터 1,700~2,300년 전, 약 600년 간 지속된 시대입니다. 요시노가리 유적은 이 야요이 시대 600년 간의 흐름을 따라 갈 수 있는 일본에서 유일한 유적입니다. 현재 복원하고 있는 것은 지금부터 1,800년 전쯤의 요시노가리의 모습입니다. 여러분, 천천히 야요이 시대의 세계를 즐겨 주십시오.

弥生时代距今1700~2300年前，延续了约600年。吉野里遗址是全国唯一一个可以追溯弥生时代上下600年的遗址。现在已经复原的部分距今约1800年。请大家慢慢欣赏弥生的世界。



(水田の風景)

(Landscape of a paddy field) (수전의 풍경) (水田风景)

環濠集落広場入口



左手を見たところ/土塁の上に立つ城柵、環壕、そしてその右手には逆茂木が見える/右端に説明坂がある





210 逆茂入り口

English 韓国語 中国語

逆茂木(乱杭)

Sakamogi(Stakes) 역무목(말뚝) 逆茂木(不规则木桩)



211 逆茂木・乱杭

English 韓国語 中国語

米作りが盛んになるにつれて、水や土地を奪い合う争いが起こるようになりました。人々は自分たちの集落を守るため、集落の入口など特に重要な区域には、とがった木の枝や幹でバリケードを築き、より厳重に守っていました。これを逆茂木と呼んでいます。

As rice cultivation increased, more people fought one another to control the water and occupy the land. People set up barricades with sharpened posts or tree trunks, especially around strategic areas such as the entrance to the village in order to strictly protect their properties. These stakes are called Sakamogi.

쌀농사가 번성하게 되자 물과 토지를 뺏기 위한 싸움이 일어나게 되었습니다. 사람들은 자신들의 취락을 지키기 위하여, 취락의 입구와 같이 특히 중요한 구역에는 뾰족한 나뭇가지나 줄기로 방어벽을 구축하고 더욱 엄중하게 수비했습니다. 이것을 역무목이라고 합니다.

随着水稻种植的发展，开始发生互相争夺水和土地的纠纷。人们为了保护自己的村落，在村落的入口等特别重要区域，用削尖的树枝或树干修筑挡墙，严加防范。这种挡墙就叫做逆茂木。



〈発掘当時の写真〉
(Photo taken during the excavation)
(발굴 당시의 사진) 《发掘当时的照片》



〈遺構図〉
(Remained Structural Plan)
(유구도) 《遗址图》

同じく右手を見たところ



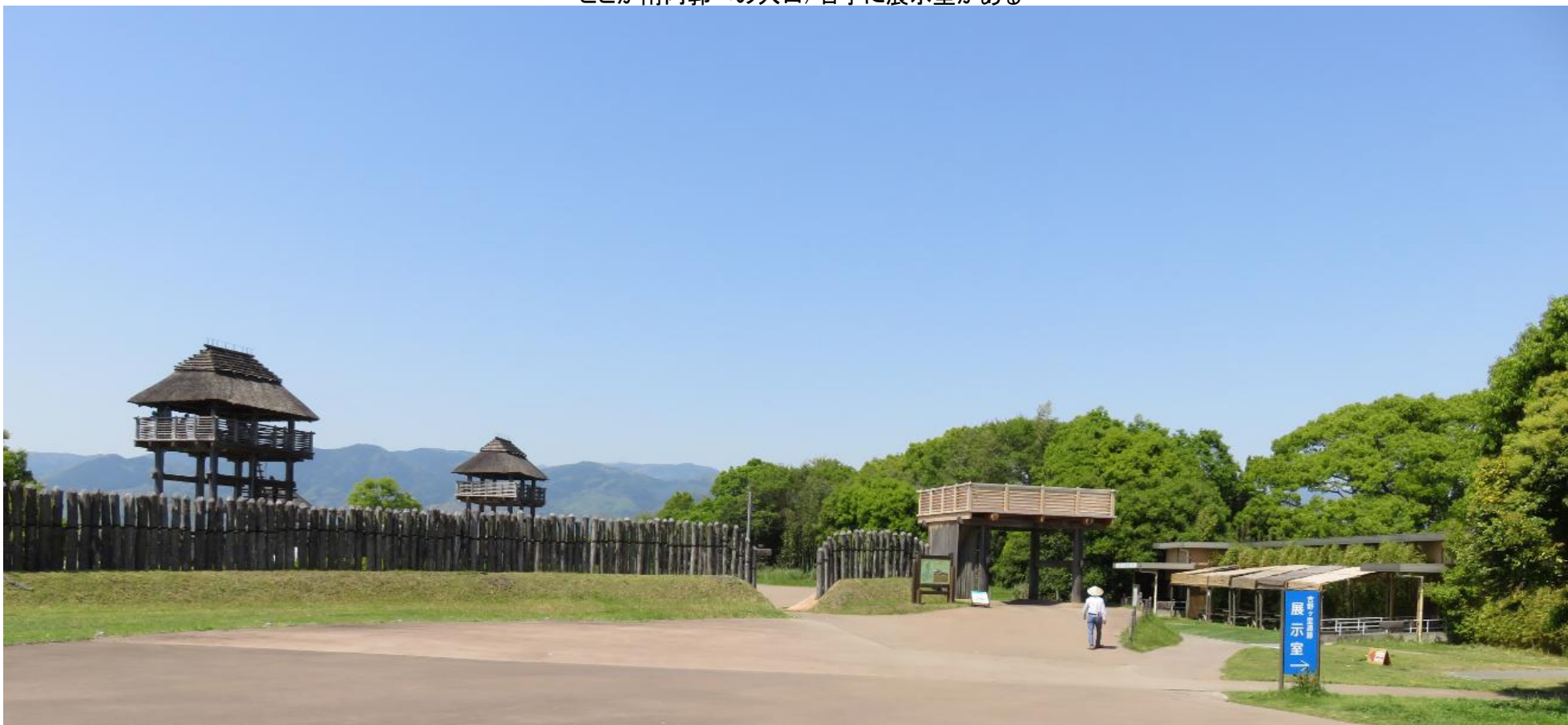
少し退いて見たところ



さて、前方に南内郭が見えて来る



ここが南内郭への入口/右手に展示室がある



右手が正門である櫓門/左手は脇門/説明坂が立っている





みなみ まち 南の「守り」

The Southern Defense s남쪽 요새 南側“防衛工事”

南内郭の南側の「守り」は、兵士が待機します。また、中に入れない人々が待っています。門には正門と脇門があり、正門は監視を厳重にするために櫓門になっています。

The defenses at the southern end of the *Minami Naikaku* (South Inner Palace) are manned by sentries. People unable to enter the palace wait around the gate. The gate is actually two gates: a main gate closely guarded from an overhead platform for added security, and a smaller side gate.

남내리의 남쪽 '요새' 에는 병사가 대기합니다. 또한 안으로 들어가지 못하는 사람들이 기다리고 있습니다. 문에는 정문과 옆문이 있으며, 정문에는 감시를 엄중히 하기 위한 감시대가 있습니다.

士兵在南内郭南侧的“防衛工事”待命。此外，还有不能进入其中的人在等候。大门有正门和侧门，为了严密监视敌情，正门采用望楼门结构。



やぐら もん
櫓門

310 櫓門
English 韩文 中文

Gate tower 누문 望楼门

櫓の上には四方に盾が置かれ、兵士が出入する人々
を見張っています。

Shields at each of the four corners protect the guards on the tower. From this vantage point they can watch the people entering and leaving the enclosure.

망루 위에는 사방에 방패를 놓고 병사가 출입하는 사람들을 감시하고 있습니다.

在望楼上方的四个方向放置盾牌，士兵对进出的人们进行监视。



見学用の階段については昇降の安全性を考慮して設置したもので、弥生時代のものとは位置や形状が異なります。

In order to ensure the safety of visitors, the steps to the tower provided here differ in both style and location from those employed in the Yayoi period.

こちらが脇門/さまざまな説明坂がある



左手を見ると城柵の向こうに物見櫓がある/説明坂が立っている



- 入ロゾ一ン**
Entrance Zone
宮マコ堀 入口区
遺跡は土中に残り、復元された入口の地から復元されています。
- 環壕集落ゾ一ン**
Moat Encircled Village Zone
宮本堀跡 宮本 環壕集落区
石垣、堀跡、土垣跡などの遺跡が残っており、当時の生活様式がよくわかります。
- 古代の原ゾ一ン**
Ancient Field Zone
古田 堀田 宮本 古代原野区
古代原野の遺跡が残り、当時の農業の様子がよくわかります。
- 古代の森ゾ一ン**
Ancient Forest Zone
宮本堀跡 宮本 古代森林区
古代森林の遺跡が残り、当時の森林の様子がよくわかります。



みなみ ない かく
南内郭

Minami Naikaku (South Inner Palace) 남내곽 南内郭

300 南内郭
<http://www.yoshinogari-jg.jp/naikaku/page44>
English 한국어 中文

南内郭は吉野ヶ里の「国」の「大人」たちが暮らしながら、「国」の政治を執りおこなっていた場所と考えられています。要所に物見櫓があり、広場を中心に「王」や「大人」の竪穴住居や煮炊屋、集会の館があります。「大人」たちの中で最高の権力者が「王」と考えられています。

The southern enclosure of the Yoshinogari settlement is thought to be the place where the *Taijin* (the Yoshinogari ruling class) both lived and carried out their administrative duties. Guarded at strategic points by watchtowers, the houses of the *O* (king) and *Taijin*, the kitchens that provide their meals, and the main assembly hall where meetings are held surround a central gathering place at the center of the enclosure. The *O* is thought to have been the most powerful of the *Taijin*.

남내곽은 요시노가리의 '나라' 의 '대인' 들이 살면서, '나라' 의 정치를 집행하던 장소로 생각됩니다. 요새이다 당루가 있으며, 광장을 중심으로 왕' 이나 '대인' 의 수혈주거와 조리실 및 집회의 건물에 있습니다. '대인' 을 중에서 최고 권력자가 '왕' 이었던 것으로 생각합니다.

南内郭被认为是吉野里“国”的“权贵”们生活和执掌“国家”政权的地方。重要地点设有望楼，广场中心有“君王”和“权贵”们的竖穴住宅、厨房及会场。“权贵”们中的最高权力者被认为是“君王”。



※各柱石内にあるそれそれの建物などの復元は、推測に基づいておこなわれています。
※The positions of individual buildings within the reconstruction are not based on excavated evidence.
※各柱石内にあるそれそれの建物などの復元は、推測に基づいておこなわれています。

右手の城柵の向こうにも物見櫓がある



みなみ ない かく もん
南内郭の門

The Gates to the *Minami Naikaku* (South Inner Palace)

남내곽의 문 南内郭的大门

みなみ ない かく みなみ せい もん また わき もん せい もん
南内郭には、南の正門、北の脇門があります。正門
の両脇には、物見櫓がそびえています。

There are two gates to the *Minami Naikaku* (South Inner Palace): the main gate at the south and a smaller gate at the north. The main gate is protected on both sides by watchtowers.

남내곽에는 남쪽 정문, 북쪽 협문이 있습니다. 정문의 양 옆에는 망루가 높이 솟아 있습니다.

南内郭有南面的正门、北面的侧门。正门两侧耸立着望楼。



南内郭

300 南内郭

<http://www.yoshinogari.go.jp/minami-naikaku/>

English 한국어 中文

Minami-Naikaku(South Inner Palace) 남내곽 南内郭

吉野ヶ里の2つの中心区域のうち、南側にあるものを南内郭と呼んでいます。壕と柵で嚴重に囲まれ、中には物見やぐらも設けられています。こうした特別の空間であることから吉野ヶ里の指導者たちの生活の場であると考えられています。

Minami-Naikaku (South Inner Palace) is one of the two central areas of Yoshinogari. Located in the south, this area was completely surrounded by a moat and fences. A watchtower was discovered in this area as well. These findings led to the assumption that the leaders of Yoshinogari used this protected area as a residence.

요시노가리에 있는 두 곳의 중심 구역 중에서 남쪽에 있는 구역을 남내곽이라고 합니다. 해자와 목책으로 엄중하게 둘러싸여 있으며, 안에는 망루도 설치되어 있습니다. 이러한 특별한 공간이라는 점으로 볼 때 요시노가리의 지도자들이 생활하던 곳이었다고 생각됩니다.

吉野里的两个中心区域中,位于南侧的叫做南内郭,它被壕沟和栅栏紧紧包围,里面还设置了望楼,从这种特殊空间来看,这里可能是吉野里的首领们的生活场所。



(発掘当時の写真)
(Photo taken during the excavation)
(발굴 당시의 사진) (发掘当时的照片)



(出土品) 鉄器
(Artifacts) Iron artifacts(Tools)
(출토품) 철기 (出土物)铁器

さて、南内郭に入ろう



左手を見たところ/城柵の内側には環壕が巡っている



同じく右手を見たところ



左手の物見櫓を見たところ



子供達も登っている



その物見櫓に登って右手の物見櫓を見たところ



その左手を見たところ



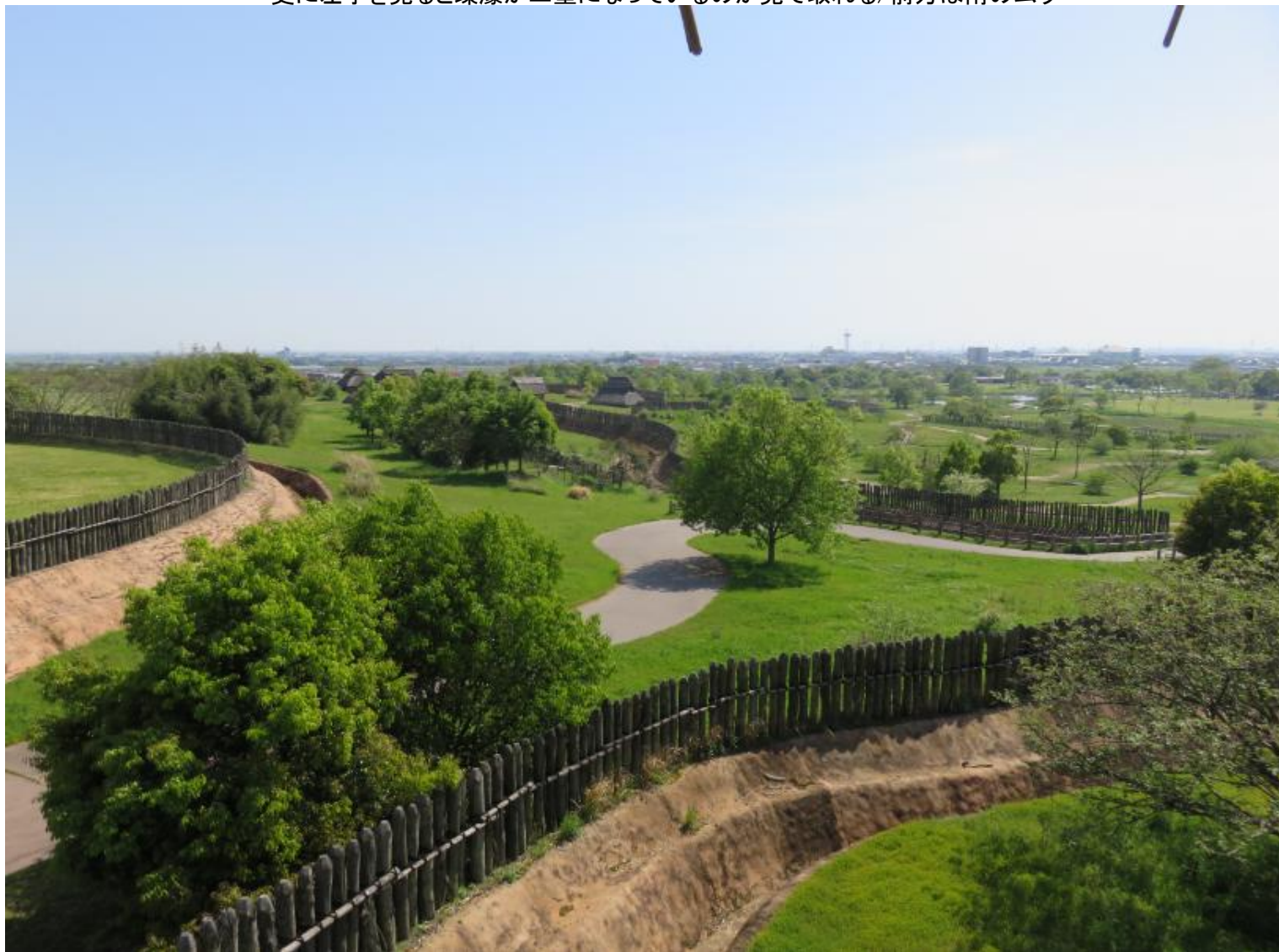
更にその左手を見たところ/前方にも物見櫓があり、さまざまな住居が復元されといる



その左手を見たところ/城柵の向こうは古代の原ゾーン



更に左手を見ると環濠が二重になっているのが見て取れる/前方は南のムラ



こんな塩梅



これは右手の物見櫓を見たところ



もの み やくら
物見櫓

Watchtower 망루 望楼



もの み やくら うえ
物見櫓の上には
四方に盾が置かれ、
兵士が周囲を見
張っています。

Shields at each of the four corners protect the guards on the tower. The soldiers are keeping watch on the surrounding area.

망루 위에는 사방으로 방패가 놓여져 있고, 병사가 주위를 감시하고 있습니다.

在望楼上面的四个方向放置盾牌，士兵对周围的情况进行监视。

さまざまな住居等が復元されている



「大人」の家

Taijin's House '대인'의 집 "权贵"之家

384 裁判を司る
支配者の家
English 韓国어 中文

ここは裁定を取り仕切る「大人」と家族の家
です。入口にいる兵士から報告を受けています。

This is the house where the *Taijin* (the Yoshinogari ruling class) responsible for judicial affairs lives with his family. He is receiving a report from the soldier standing at the entrance to the house.

이곳은 재정을 맡은 '대인' 과 가족의 집입니다. 입구에 있는 병사로부터 보고를 받고 있습니다.

这是负责裁决的“权贵”及其家人的住所。“权贵”从站在入口的士兵那里接受报告。





しゅう かい やかた 集会の館

383 集会の館

<http://www.kokugakuin.jp/guide/383/>

English 한국어 中文

Assembly Hall 집회의 건물 会馆

ここは、「王」や「大人」たちが集まり、
儀式や話し合いをする建物です。

Here the *ō* (king) and the *Taijin* (the Yoshinogari ruling class) assemble to take part in ceremonies and discuss matters of policy.

이곳은 '왕' 이나 '대인' 들이 모여서 의식을 행하거나 상의를 하는 건물입니다.

这是“君王”和“权贵”们聚集在一起举行仪式和会议的建筑物。



それらの住居等はこのように城柵と環濠で守られている



こちらの物見櫓にも登ってみよう



手前の柵によって囲まれた特別な空間は王の家をはじめ、その娘夫婦や妻の家であったと考えられている



背後の環濠の向こうは倉と市



さて、南内郭から北内郭方向に進もう/前方に説明坂がある





北内郭・北墳丘墓・中のムラ

Kita-Naikaku (North Inner Palace)/Kita-Funkyubo (North Burial Mound)/Nakano (Inner) Village 북내곽, 북분구묘, 중간 마을 北内郭, 北坟丘墓, 中之村

環壕集落の最も北にあるこの地域は、吉野ヶ里の「国」の、まつりごと(祭りや政治)の中心であったと考えられています。北に歴代の王の墓があり、その南にまつりごとを行う北内郭、北内郭の西側に特別な倉庫群と北内郭の行事を補佐する人達が住む、中のムラがあります。



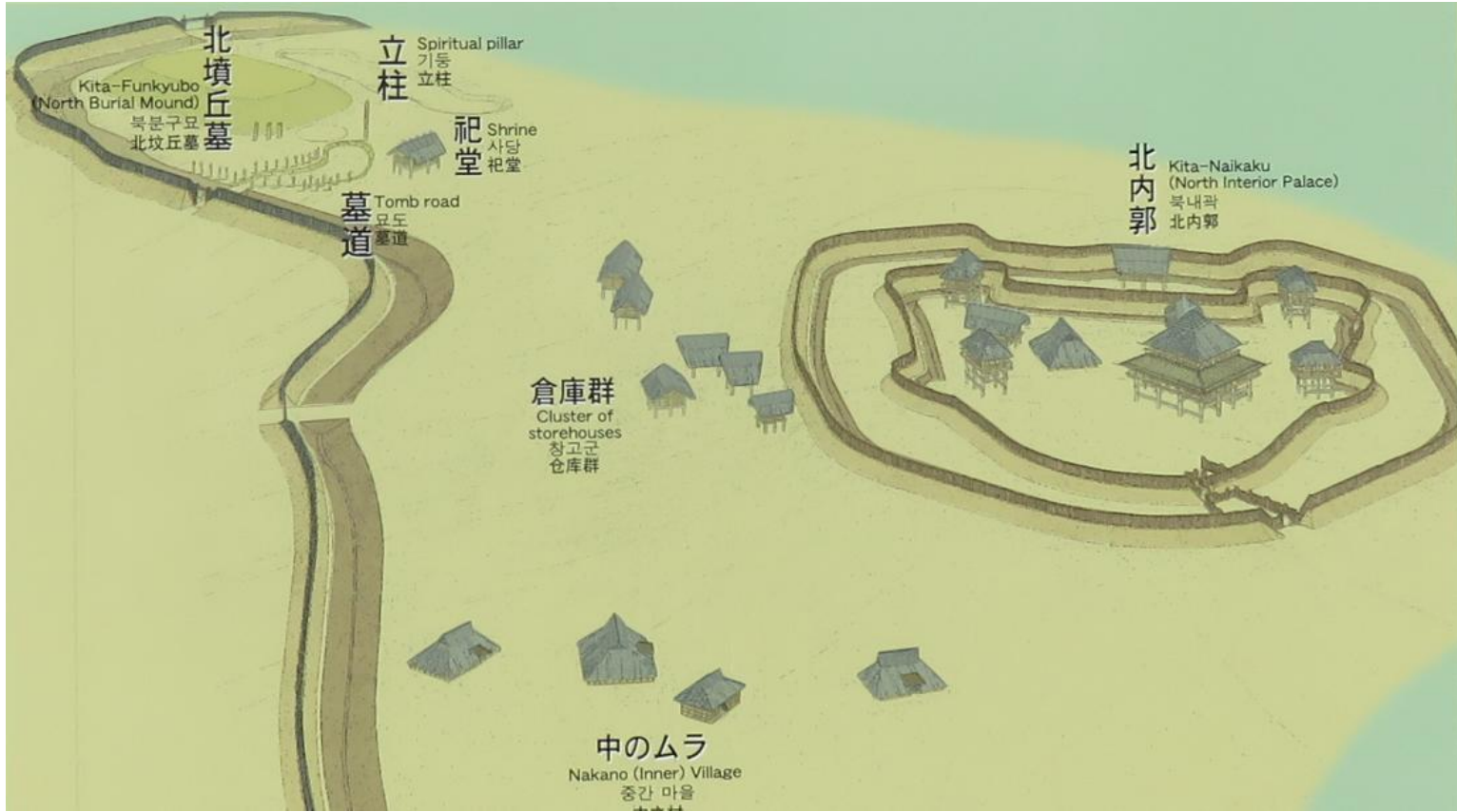
The area, located at the most northern part of the Moat Village, is considered to have been the center of festivals and politics in Yoshinogari province.

Tombs of successive kings are located in the north and the site of various festivals to the south of Kita-Naikaku (North Interior Palace). To the west, there are clusters of special storehouses and Nakano (Inner) Village where those who assist events at the Kita-Naikaku (North Interior Palace) reside.

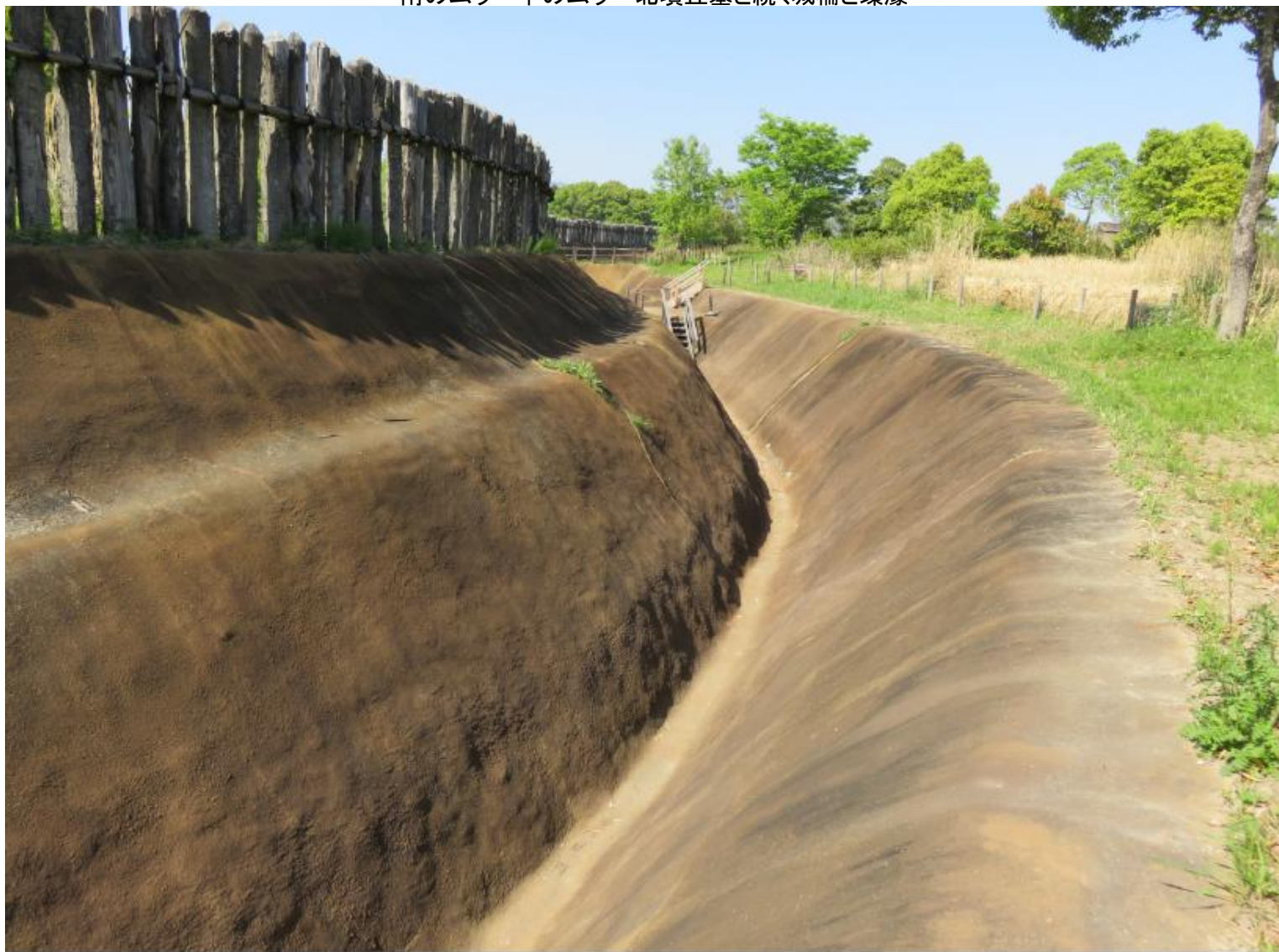
환호하리의 가장 북쪽에 있는 이 지역은 요시노가리의 나라의 정사(제사와 정치)의 중심이었다고 생각됩니다. 북쪽에 역대 왕의 묘가 있으며, 그 남쪽에 정사를 보는 북내곽, 북내곽의 서쪽에 특별한 창고군과 북내곽의 행사를 보좌하는 사람들이 사는 중간 마을이 있습니다.

位于环壕村落最北边的该区域被认为是吉野里“国”的政务(祭祀和政治)中心。

北面有历代君王墓穴，其南面有办理政务的北内郭。北内郭西面有特殊仓库群和中之村，辅佐



南のムラ～中のムラ～北墳丘墓と続く城柵と環濠



環濠に下りて見たところ/非常に深い



振り返って見たところ



さて、前方は中のムラの住居等/ここを右手に折れて進むと北内郭へ至る



前方に北内郭が見えて来た



ここが北内郭への入口/説明坂がある



北内郭(王の宮殿)

Kita-Naikaku(North Inner Palace)(King's Palace) 북내곽(왕의 궁전) 北内郭(君王的宮殿)

吉野ヶ里のまつりごとを司る最重要区域です。田植えや稲刈りの日取り、戦いや狩りの祈りなど、重要な事柄は全てここで決定されたと考えられています。こうしたことから、当時は指導者たちだけが出入りできた神聖かつ特別な場所であったようです。

This was the most important area since all the festivals of Yoshinogari were administered from here. While dates of important events such as rice planting or harvesting were decided here, prayers for war or hunting were also given here. Therefore it is believed that only the leaders of the province were allowed to enter this sacred area.

요시노가리의 정사를 담당하는 가장 중요한 구역입니다. 모내기과 벼베기의 날짜를 정하거나, 전쟁과 수렵을 위한 기도를 올리는 등의 중요한 일들은 모두 여기에서 결정했다고 생각합니다. 이러한 점을 볼 때 당시에는 지도자들만이 출입할 수 있었던 신성하고 특별한 장소였던 것 같습니다.

这是负责吉野里的政务的最重要区域。规定插秧和割稻的日期。战斗和狩猎的祈祷等重要事情可能全都在这里决定。因此，当时这里似乎是只有首领们才能出入的神圣而特殊的场所。



(発掘当時の写真)
(Photo taken during the excavation)
(발굴 당시의 사진)
(发掘当时的照片)



(出土品) 地鎮のため北内郭の中に埋納された中広形銅戈
(Artifacts) A copper sword with a wide blade was buried in the Kita-Naikaku (North Inner Palace) in order to purify the ground.
(동토품) 땅을 신성하게 하기 위하여 북내곽 안에 매장된 중광형 동검
(出土物) 为奠基而埋藏在北内郭地下的中宽型铜戈

北内郭発掘当時の状況

The Condition of Kira Naikaku (North Inner Palace) at the time of Excavation
 북내궁 발굴 당시의 상황 北内郭発掘当時の状況



突出部と物見櫓
 Protrusion and watchtower
 突出部と物見櫓

環壕の外に丸く盛り出した突出部が4箇所あり、各突出部の内側にはそれぞれ物見櫓があります。
 Four circular protrusions project outward from the moat, and the watchtower is located inside of the respective protrusion.
 環壕の外側に丸く盛り出した突出部が4箇所あり、各突出部の内側にはそれぞれ物見櫓があります。



主祭殿
 Daijingu
 主祭殿

16本の柱を使った宮野茅葺天板檜の高床建物です。内側にある柱で床を支える構造で、柱の断面や平面形から檜葺の建物と推定されています。
 This building with an elevated floor with 16 posts is known as the main shrine by Yoshimoto. The interior floor is made of pine. Considering the location of the shrine and its floor shape it leads to the assumption that it was a multi-worked building.
 16本の柱を使った宮野茅葺天板檜の高床建物です。内側にある柱で床を支える構造で、柱の断面や平面形から檜葺の建物と推定されています。

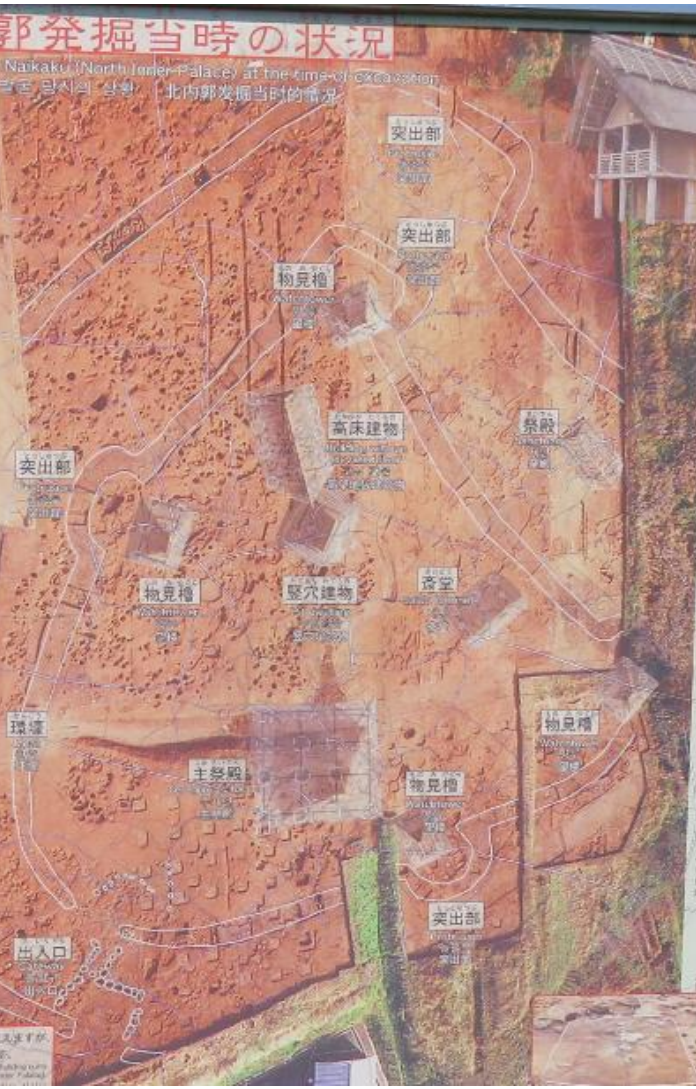


出入口
 Entrances
 出入口

出入口は、発掘当時の様子を上から撮影したものです。たくさんのが見えますが、これらの中から同じ種類の建築物を派び出し、復元したものが現在の状況です。
 The picture is after water is an aerial view during excavation. You can see there were a lot of holes. If you compare them from the same angle, you will notice that they are the same kind of building. (North gate, South gate, East gate, West gate)



復元された現在の北内郭
 Restored present-day North Inner Palace



高床建物
 Building with raised floor
 高床建物

道幅、地中に柱を立てた竈立柱建物です。その構造から櫓の無い建物と推定されています。
 The building has its pillars placed along the ground. This structure is believed to have been built for a high-rise of floor.
 道幅、地中に柱を立てた竈立柱建物です。その構造から櫓の無い建物と推定されています。



祭殿
 Shrine
 祭殿

内郭の外に置かれた竈立柱建物で、二方のみ覆があり、面は吹き抜けになっています。
 The building has its pillars placed along the ground and has a roof over only two sides. Only the facing side has walls, while the other sides are open.
 内郭の外側に置かれた竈立柱建物で、二方のみ覆があり、面は吹き抜けになっています。



風呂
 Bath
 風呂

高床の竈立柱建物です。床を支える木柱が内側にあります。この木柱は高床建物や祭殿にもあります。
 This is a building with an elevated floor with its pillars placed along the ground. Internal pillars support the floor. These pillars were also found in the building with an elevated floor.
 高床の竈立柱建物です。床を支える木柱が内側にあります。この木柱は高床建物や祭殿にもあります。



竈穴建物
 Hearth building
 竈穴建物

厚さ盛り下げた平地下式の建物です。外壁は、竈跡を残すように見えます。
 The building is built on a raised platform and has a thick wall. The exterior wall shows the remains of a hearth.
 厚さ盛り下げた平地下式の建物です。外壁は、竈跡を残すように見えます。

この城柵入口を進む



そして左手を見たところ/このように城柵の内側には環濠が巡らされている



同じく右手を見たところ



その左手を見ると主祭殿(左手)と物見櫓(右手)が見える/そこへはもう一つ城柵を越えなければならない



二重目の城柵の中に進む



左手を見たところ/二重目の城柵の内側にも環濠が巡る/前方にも物見櫓が建つ



同じく右手を見たところ



ここが北内郭/さまざまな建物群が復元されている



このように環濠が折れを持ちながら巡らされている



正面が主祭殿/左端は齋堂



主祭殿



主祭殿

Ceremonial Hall — 주제단 主祭殿

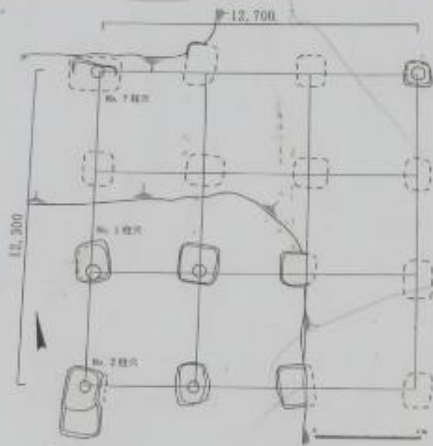


吉野ヶ里のまつりごとを司る最重要施設です。ここでは指導者たちが重要な事柄を話し合ったり、最高司祭者が祖先の霊に祈りを捧げる儀式などが執り行われていたようです。発掘調査の成果や古代中国の事例などを参考に高さ16.5mで復元しています。

This was the most important facility to administer the festivals in Yoshinogari. Leaders discussed important issues as well and the highest-ranking priest offered prayer to the spirits of the ancestors here. Based on the excavations, examinations and study of ancient China, the 16.5-meter tall buildings have been restored.

요시노가리의 정사를 담당하는 가장 중요한 시설입니다. 여기에서 지도자들이 중요한 일들을 의논하거나, 최고 사제가 조상의 혼령에게 기도를 올리는 의식을 집행했던 것 같습니다. 발굴 조사의 성과나 고대 중국의 사례 등을 참고로 높이 16.5m로 복원하였습니다.

这是负责古野里的政务的最重要设施。首领们在这里商讨要事，最高司祭为祖先之灵祈祷的仪式等也在这里举行。我们参考了发掘调查的成果和古代中国的事例等，将主祭殿复原为高16.5米。



遺構図
(Remained Structural Plan)



復元図
(Restored drawing)



主祭殿の内部に入ってみる



主祭殿の2階では、弥生人による会議が開かれている



同じく3階に上がってみると、巫女が神に祈りを捧げている





最高司祭者の神がかりの様子

Head Priest's Supernatural Possession

최고사제의 신내림 모습 最高司祭請神附体的情形



最高司祭者（巫女）が、祖霊からお告げを授かるために、蔓を頭や身体にまき、手に小笹を持って、琴の音に合わせて神がかりしようとしています。巫女の発するお告げを、聞き分け、伝える人が、控えています。鏡や玉・剣は、巫女が、祖霊と交信するための祭具です。

主祭殿から先程進んで来た入口を見下ろしたところ/二重環濠になっているのが見て取れる



その右手を見ると中のムラが見える



その更に右手を見たところ/右手前は竪穴住居/その背後は高床建物/他は物見櫓



たて あな じゅう きょ じゅう しゃ す 豎穴住居(従者の住まい)

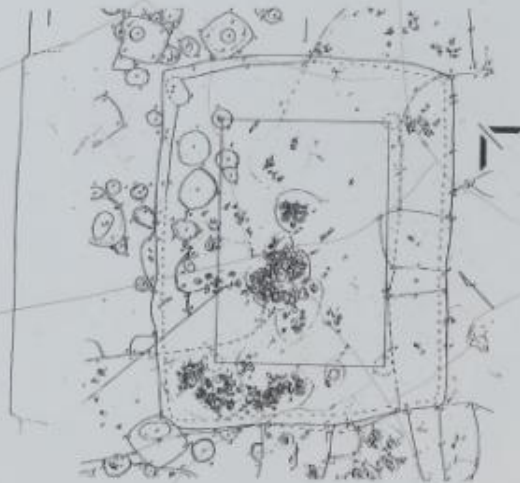
Pit Dwelling (Valet's Residence) 수혈주거(하인들의 주거) 豎穴住宅(侍从的住处)

北内郭で唯一の豎穴住居です。これは最高司祭者の最も身近に仕え、その世話に当たる従者の住居であったと推定しています。

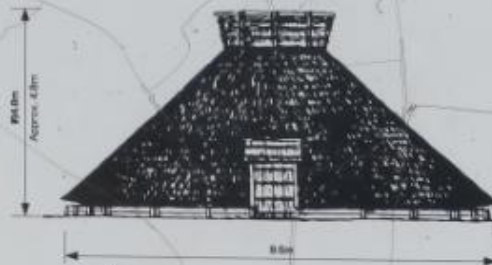
This is the only pit dwelling in Kita-Naikaku (North Inner Palace), and considered to be the residence of the closest valets who served and took care of the highest-ranking priest.

북내각에서 유일한 수혈주거입니다. 이곳은 최고 사제를 가장 가까이에서 모시며 시중을 드리는 하인들의 주거지였다고 추정됩니다.

这是北内郭唯一的豎穴住宅。可能是服侍照顾最高司祭的贴身侍从的住处。



(遺構図)
(Remained Structural Plan)
(유구도) (遺址图)



(復元図)
(Restored drawing)
(복원도) (复原图)



その右手を見ると右手前に齋堂、その背後に祭殿が見える



その更に右手を見ると突出部に物見櫓が建っている/環濠も折れを持っている



主祭殿を出て、その物見櫓を見たところ



物見やぐら

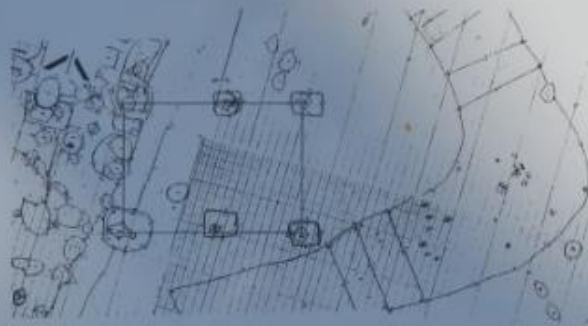
Watchtower 망루 望楼

南内郭の物見やぐらと同じく、敵を見張るための役目を持つ建物と考えられていますが、この区域の特色から、もう一つ、四方をまつる役目も持っていたと考えられています。南内郭の物見やぐらと少し形が違うところに注目してみてください。

Although this building may have been built to watch over the enemies of the area just like the watchtower in Minami-Naikaku (South Inner Palace), the characteristics of this area have led to the assumption that this building also played a role as a center of worshiping all four corners. Differences in the shape between the watchtowers in the Kita-Naikaku (North Inner Palace) and the Minami-Naikaku (South Inner Palace) are worth comparing.

남내곽의 망루와 마찬가지로 적을 감시하기 위한 역할을 지닌 건물이라고 생각되지만, 이 구역의 특색으로 볼 때 사방을 향해 제사를 지내는 또 하나의 역할도 있었다고 생각됩니다. 남내곽의 망루와 조금 형태가 다른 것에 주목해 주십시오.

这座建筑物被认为与南内郭的望楼一样具有防备敌人的作用。但是，从这片区域的特点来看，它还具有另一个作用，即祭祀天地四方。参观时，请注意它与南内郭的望楼形状稍有不同地方。



遺構図
(Remained Structural Plan)
(遺構図)



復元図
(Restored drawing)
(復元図)

こちらは齋堂



齋堂

Saido (Shrine) 재당 齋堂



齋堂は主祭殿と東祭殿との間に位置することから、まつりの時に身を清めたり、まつりの儀式に使う道具などが置かれていた施設と推定しています。

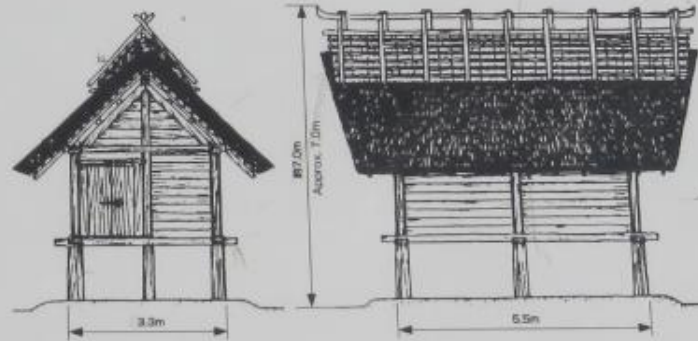
Located between the Main Sanctuary and the East Sanctuary, Saido (shrine) is believed to have been used by the people to purify themselves for the festivals or to store tools for festival rituals.

재당은 주제단과 동제단 사이에 위치한 것으로 볼 때, 제사 때 몸을 깨끗이 하거나 제사 의식에 사용하는 도구를 놓아 둔 시설이었다고 추정됩니다.

齋堂位于主祭殿和东祭殿之间,由此可以推定,它是祭祀时净身或存放祭祀仪式用具的设施。



いこさず
(遺構図)
(Remained Structural Plan)
(유구도) (遺址图)



ふもとげんず
(復元図)
(Restored drawing)
(복원도) (复原图)

こちらは高床建物



高床住居

430

High-floored residence 고상 주거 高架地板住宅

神聖な区域の中にあり、高床倉庫とは違ってほぼ正方形に近い形をしていることから、吉野ヶ里の最高司祭者の住まいだったと考えられています。最高司祭者は一般の人々の前にはほとんど姿を現さなかったと考えられており、まさしくプライベートな空間だったと思われます。

Located in the sacred area and having an almost square shape, unlike the high-floored storehouse, this building is considered to be the residence of the highest-ranking priest of Yoshinogari. It is said that highest-ranking priest rarely appeared in public so that this must have been a very isolated area.

신성한 구역 안에 있으며, 고상 참고와는 달리 거의 정방형에 가까운 형태를 하고 있는 것으로 볼 때 요시노가리의 최고 사제의 주거지였다고 생각됩니다. 최고 사제는 일반인들 앞에는 거의 모습을 보이지 않았던 것 같으며, 틀림없이 격리된 사적인 공간이었다고 생각됩니다.

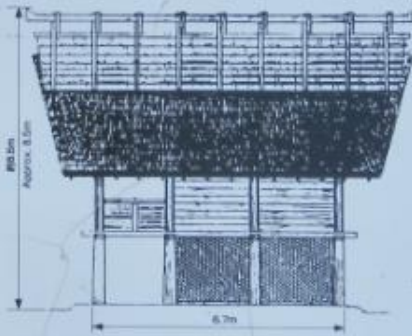
高架地板住宅位于神圣区域当中，并且与高架仓库不同，形状基本上近似于正方形，由此可见，这里可能是吉野里的最高司祭的住所。据推测，最高司祭基本上不在普通人前露面，因此，这的确被认为是很隐秘的场所。



(遺構図)



(復元図)



8.5m
Above: 8.5m

反対の出入口で右手を見たところ/齋堂と物見櫓が見える



同じく左手を見たところ/物見櫓が見える



内側の城柵と外側の城柵(前方)の間に祭殿がある



東祭殿

East Sanctuary 동제단 东祭殿



東祭殿は、北内郭の中心線である夏至の日の出と冬至の日の入りを結ぶ線上にあることから、季節ごとのまつりの儀式が行われた施設と考えられています。また、何度も建て替えられた跡があることから、まつりなどが行われるたびに建て替えられたのかもしれませんが。

Since the East Sanctuary was on the extension of the centerline of Kita-Naikaku (North Inner Palace), which connects the sunrise on the summer solstice and sunset on the winter solstice, it is believed that rituals of the seasonal festivals were held in this building. Moreover, evidence points to the possibility that the shrine was rebuilt many times putting forth the possibility that it may have been rebuilt for each and every festival held.

동제단은 북내곽의 중심선인 하지의 일출과 동지의 일몰을 잇는 선상에 있었던 것으로 볼 때, 계절마다 제사 의식이 행해진 시설이었다고 생각됩니다. 또한 수 차례 다시 건축한 흔적이 있는 것으로 볼 때, 제사를 지낼 때마다 다시 지어졌을 수도 있습니다.

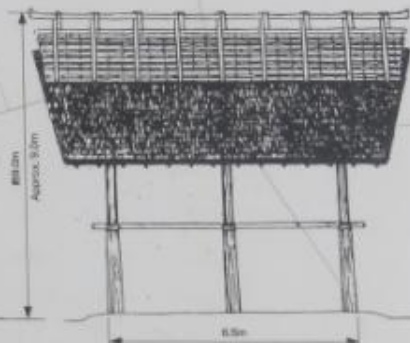
东祭殿位于北内郭的中轴线上，即夏至日出和冬至日落的连接线上。由此可知，这是举行每个季节的祭祀仪式的设施。此外，它还有多次重建过的迹象，由此可见，可能在每次举行祭祀等时都对其进行重建。



(遺構図)
(Remained Structural Plan)
(유구도) (遺址图)



(復元図)
(Restored drawing)
(복원도) (复原图)



(復元도) (复原图)

祭殿の左手は外側の環濠と城柵



振り返って反対側を見たところ



さて、北内郭を出て北墳丘墓方向へ進む/前方に説明坂が立っている





きた ふん きゅう ぼ りっ ちゅう し どう ぼ どう
北墳丘墓・立柱・祠堂・墓道

Kita-Funkyubo (North Burial Mound)/Spiritual Pillar/Shrine/Tomb Road 북분구묘, 기둥, 사당, 묘도 北坟丘墓、立柱、祠堂、墓道

北墳丘墓は歴代の王の墓であり、西には壕をわたって走る墓道、南には祖霊の宿る立柱と、歴代の王の祖霊へお供えやお祈りを捧げる祠堂があります。

ここは、吉野ヶ里集落を築き上げた祖先の霊を大切に祀る神聖な区域と考えられています。

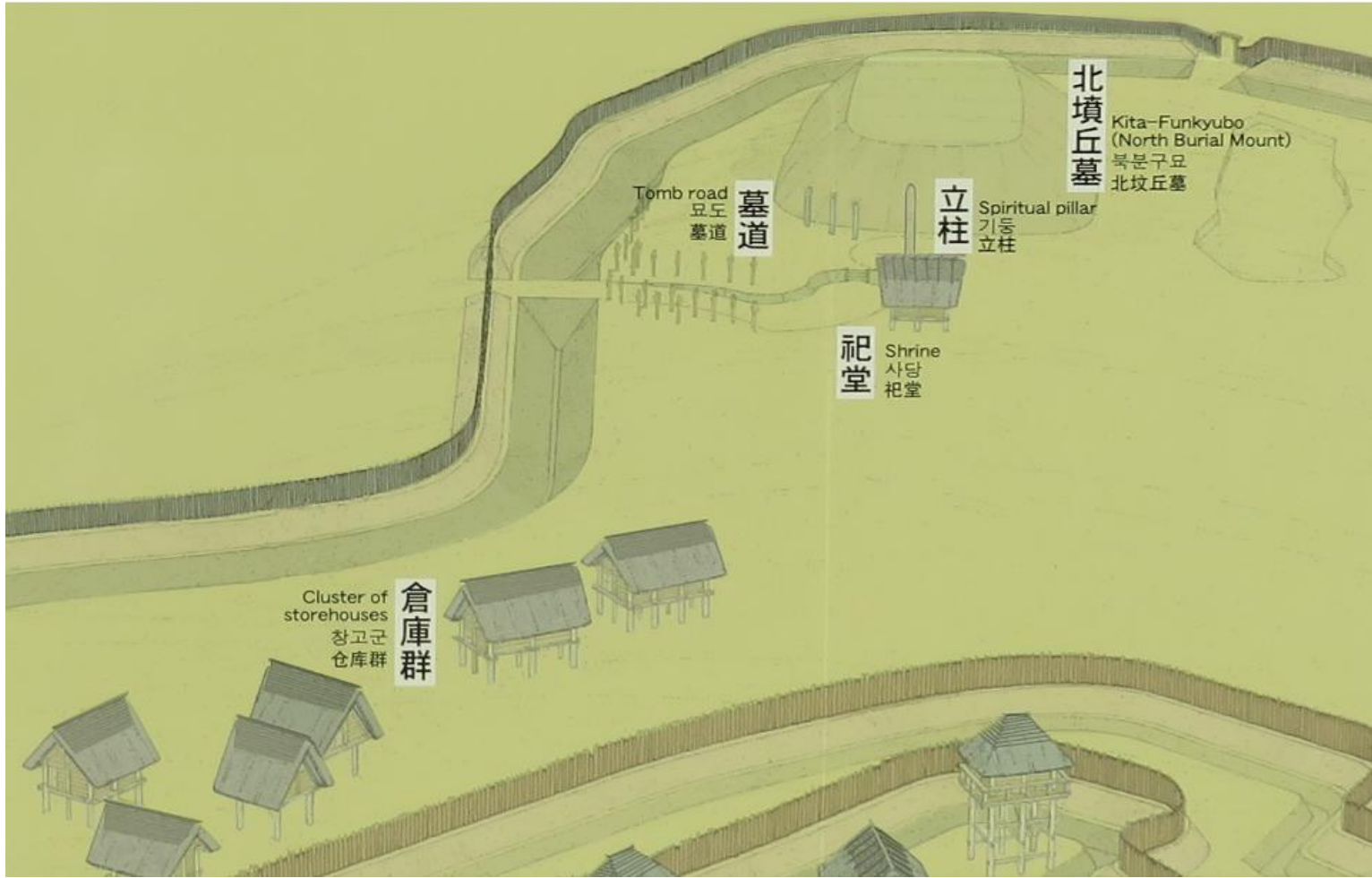


The Kita-Funkyubo (North Burial Mound) is the entrenched tomb of successive kings. The entrenched tomb road is located to the west, the spiritual pillar of ancestors, and a shrine to pray and place offerings for the successive kings are all located to the south. This is considered a sacred area that enshrines the spirits of the ancestors who established Yoshinogari village.

북분구묘는 역대 왕의 무덤이며 서쪽에는 해자를 건너서 나 있는 묘도 남쪽에는 선조의 혼령이 머무는 기둥과 역대 왕의 혼령에게 제물을 바치거나 기도를 올리는 사당이 있습니다. 이곳은 요시노가리 위락촌을 건설한 조상의 혼령을 소중히 제사 지내는 신성한 구역이었던 것으로 생각됩니다.

北坟丘墓是历代君王的墓穴，西面有横跨壕沟的墓道，南面有寄寓祖灵立柱和祭祀供奉历代君王祖灵祠堂。这里被认为是郑重祭祀修建吉野里的祖先之灵的神圣区域。

※ 所在地内にあるそれぞれの建築物などの位置も、推定をとおして記載しています。
 The positions of individual buildings, etc. are indicated based on research.
 © 2015 by the National Institute of Cultural Heritage, ICHON 2015 01 01
 本図は吉野ヶ里歴史公園の管理下で制作されたものです。



左手に見える建物が祀堂



これが祀堂/背後のマウンドが北墳丘墓/さまざまな説明坂がある



し どう 祀堂

Shido (Shrine) 사당 祀堂

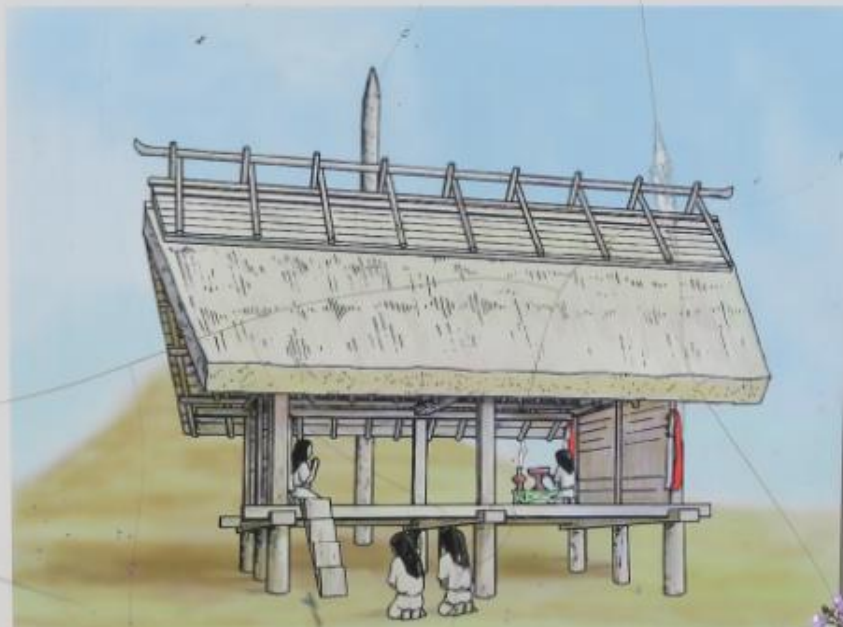


歴代れきだいの王おうの祖靈そらいへお供えもなを捧げささ、お祈りいのをする
建物たてものです。

People present offerings to the spirits of successive kings and ancestors as well using this shrine for prayer.

역대 왕의 조상의 혼령에게 공물을 바치고 기도를 하는 건물입니다.

这是供祭和祈祷历代君王祖灵的建筑物。





祖雲の宿る柱

古墳の墓室柱として、土壌の層やその柱の断面の形状を
特定することが出来ます。
この断面は、現在時代の断面には計量ではなく、断面
の形状までを照準として入りの確認が出来ます。



墓道

古墳の墓室に到達するための通路のことであり、古墳の
中心部から外縁部までの距離を測ることが出来ます。
また、墓室の位置や形状、墓室の入り口の位置など、
古墳の構造や規模を把握することが出来ます。



北壇丘墓

古墳時代の中期、古墳の発展を促したと考えられる
古墳の一種です。古墳の中心部から外縁部までの距離を
測ることが出来ます。また、墓室の位置や形状、墓室の
入り口の位置など、古墳の構造や規模を把握する
ことが出来ます。



祖霊の宿る柱

520 立柱

English 韓国어 中文

Ancestor's Spiritual Pillar 조상의 혼령이 깃드는 기둥 寄寓祖灵的立柱

祖霊の宿る柱とは、北墳丘墓を守る祖先の霊が宿る柱と考えられています。

北墳丘墓は、弥生時代の後半にはお墓ではなく、祖先の霊をまつる祭壇として人々の信仰の中心となります。

It is assumed that the spirits of the ancestors who protect Kita-Funkyubo (North Burial Mound) reside in this pillar. During the latter half of the Yayoi period, Kita-Funkyubo (North Burial Mound) became the altar for worshipping the ancestors, the center of religion, instead of a gravesite.

조상의 혼령이 깃드는 기둥이란 북분구묘를 지키는 조상의 혼령이 깃드는 기둥이었다고 생각합니다. 북분구묘는 아요이 시대 후반에는 무덤이 아니라 조상의 혼령을 제사 지내는 제단으로서 사람들의 신앙의 중심이 되었습니다.

寄寓祖灵的立柱可能是指守护北坟丘墓的祖先之灵所寄寓的立柱。北坟丘墓在弥生时代的后半期并不是墓穴而是祭祀祖先之灵的祭坛，成为人们的信仰中心。



(遺構図)
(Structural Plan)



(復元図)
(Restored drawing)

墓道

Path to the Burial Mound 묘도 墓道

北墳丘墓にお参りするための専用の道と考えられています。この道は外環壕の外から延びており、吉野ヶ里集落だけではなく、周辺集落を含めたこの地域の「クニ」全体の人々が北墳丘墓にお参りするための道であったと考えられています。

This is considered to be the special path for the people who visited Kita-Funkyubo (North Burial Mound). Since the path is extended outward from the external moat, it was maybe not only for the people of the Yoshinogari village but also for those of the surrounding villages and the outer regions of the province to visit Kita-Funkyubo (North Burial Mound).

북분구묘에 참배하러 가기 위한 전용 도로였다고 생각합니다. 이 길은 외환호의 밖으로 이어져 있는 것으로 볼 때, 오시노가리 취락뿐 아니라 주변 취락을 포함한 이 지역 "나라" 전체 사람들이 북분구묘에 참배하기 위한 길이었다고 생각합니다.

墓道被认为是到北坟丘墓上坟的专用通道。此通道延伸至环壕外，由此可见，它不仅是吉野里村落，也是包括周围村落在内的该区域的整个“国家”的人们到北坟丘墓上坟的通道。



(発掘当時の写真)
(Photo taken during the excavation)
(발굴 당시의 사진)
(发掘当时的照片)



(遺構図)
(Remained Structural Plan)
(유구도)
(遗址图)

北墳丘墓

Kita-Funkyubo (North Burial Mound) 북분구묘 北墳丘墓

弥生時代の中頃、吉野ヶ里を治めていた歴代の王の墓と考えられています。中からは14基の甕棺が見つかり、一般の墓とは違い、ガラス製の管玉や青銅の剣など、貴重な副葬品が納められていました。北墳丘墓に葬られている人々の身分の高さを示しています。

This is considered to be the graveyard of the successive kings who governed Yoshinogari during the mid-Yayoi period. Fourteen Kamekan (caskets) were discovered in this mound. Different from the other graves, many valuable burial furnishings such as glass tube balls and bronze swords were found in this graveyard.

야요이 시대의 중기, 요시노가리를 다스리던 역대 왕의 무덤이라고 생각합니다. 그 가운데는 14기의 옹관이 발견되었는데, 일반 무덤과는 달리 유리제 관옥과 청동 검과 같은 귀중한 부장품이 들어 있었습니다. 북분구묘에 묻힌 사람들의 신분이 높았음을 알려주고 있습니다.

北墳丘墓被认为是弥生时代中期统治吉野里的历代君王的墓穴。从中发现了十四座瓮棺，与普通墓穴不同，棺中放有玻璃制管玉和青铜剑等贵重陪葬物，表明埋葬在北墳丘墓的人地位很高。



(発掘当時の写真)
(Photo taken during the excavation)



(出土品) ガラス製管玉・有柄袖形銅剣
(Artifacts) Bronze dagger and cylindrical glass beads in situ
(출토품) 유리제 관옥, 무늬 있는 세형동검

北墳丘墓の手前に祖霊の宿る柱が立つ



環濠の左手に沿う墓道/この環濠を渡って外へ延びている



右手から北墳丘墓の背後に進む



こちらがその背後/左手が北墳丘墓



こちらへも環濠が廻っている



北墳丘墓の内部は遺構の展示施設となっている



北墳丘墓

Kita-Funkyubo (North Burial Mound)

북분구묘

北坟丘墓

2100 年前の王の威光

今からおよそ 2100 年前、この地に葬られた人々がいました。その人々は、吉野ヶ里集落の歴代の王だと考えられています。

永い眠りから覚めた彼らが語りかける当時の世界をご紹介します。なお、正面の発掘状況の展示のうち、遺構面と甕棺は本物を展示しています。



The Kings' Power of 2100 Years Ago

About 2100 years ago, people were buried in this area. They were thought to be people of high rank, such as kings or community chiefs in yoshinogari village. Now they waked up from the long sleep to tell us what happened in that period. And within the display of the excavation state that you are facing to, the surface of the remains and the burial jars are real artifacts.

2100년전 왕의 위광

지금으로부터 약2100년전, 이 땅에 묻혀진 사람들이 있었습니다. 그 사람들은, 오시노가리 취락의 역대 왕들이라고 생각되어집니다. 긴 안식으로부터 눈을 뜬 그 들이 이야기하는 당시의 세계를 소개합니다. 또한, 항상 발굴상황을 전시하고 있으며, 그 중 유적면과 용관은 실물입니다.

2100 年前的王的威光

距今约 2100 年前, 在这片土地曾埋葬了一些人。这些人被认为是吉野里村落的历代的王或首领。如今长眠于此的他们苏醒过来, 在向我们讲述着当时的世界。另外, 在正面的发掘状况的展示中, 遗构面和瓮棺为原物。

展示されている遺構面と甕棺



かめ かん 14 基の甕棺

墳丘墓内で発掘された 14 基の甕棺の内、中央の甕棺（1006 号甕棺）が最も古く埋葬されています。これを取り囲むように概ね南から反時計回りで順次埋葬されたものと考えられていますが、正確な順番はわかっていません。

現在展示している遺構面及び甕棺は実物です。甕棺の中には、出土品のレプリカが発掘時の姿で復元されています。

見学デッキからは、1006 号甕棺と 1007 号甕棺の副葬品を伴った出土状況を、この 2 つの甕棺の間の土層断面からは少しずつ土を盛っては突き固めた築造の様子をわかりやすく観察することができます。

北墳丘墓内甕棺一覧表

発掘番号	時期	甕棺土層方向と 副葬土層（概ね方位）	出土遺物	備考
1002	中瀬中頃（新）	直交（20°）	把頭飾付漆布柄織部副葬品 1、ガラス製管玉 70、布（絹・大麻）共（副葬に付添）	埋葬り、未あり
1003	中瀬中頃	平行（10°）	石製 1（棺内埋土中、この甕棺に伴うかどうかわ不明）	埋葬り
1004	中瀬中頃（古）	斜め（5°）		埋葬り、未あり
1005	中瀬中頃（新）	平行（10°）	銅形副葬品 1	埋葬り、未あり
1006	中瀬前半	平行（0°）	銅形副葬品 1、歯	埋葬り、未あり
1007	中瀬中頃（古）	平行（0°）	銅形副葬品 1、青銅製把頭飾 1、人骨片	埋葬り
1009	中瀬中頃	平行（0°）	銅形副葬品 1	埋葬り、未あり
1050	中瀬中頃（新）	直交（13°）	人骨片	埋葬り
1051	中瀬中頃（古）	平行（20°）	人骨片	埋葬り
1052	中瀬中頃（古）	平行（27°）	人骨片	埋葬り
1054	中瀬中頃	直交（15°）	銅形副葬品 1	埋葬り、未あり
1055	中瀬中頃	直交（38°）		埋葬り
1056	中瀬中頃	直交（0°）	銅形副葬品 1	埋葬り
1057	中瀬中頃（新）	平行（0°）	銅形副葬品 1、青銅製把頭飾 1、人骨片（未発見）	埋葬り



北墳丘墓の甕棺配置図





2100年前のこの地に

今からおよそ 2100 年前、弥生時代中期（紀元前 2 世紀～紀元 1 世紀頃）吉野ヶ里遺跡北側の標高約 25m の段丘上に巨大な墳丘墓が築られました。この墳丘墓は、南北約 40m、東西 27m、盛土の高さは 4.5m の平面隅丸長方形であったと考えられています。この墳丘墓からは、成人用の甕棺が 14 基発掘され、その多くから身分を示すと考えられる銅剣や管玉が発見されました。そのため、この北墳丘墓は、弥生時代中期の吉野ヶ里遺跡の歴代の王または首長と考えられる人々が葬られていたと考えられており、吉野ヶ里遺跡の中でも弥生の「クニ」社会を裏付ける最重要遺構のひとつとなっています。



甕棺に埋葬された弥生人

縄文時代には、人が亡くなると地面に穴を掘って、直接遺体を埋めていました。土坑墓が、弥生時代になると、石棺や木棺や甕棺（素焼きの棺）などに遺体をおさめて埋葬することがはじまりました。北墳丘墓では、大型甕棺を二個あわせて、そこに大人の遺体をおさめるという葬法（大型合口甕棺）が用いられた棺が14基出土しています。これら甕棺による埋葬方法は、現在の所、日本では佐賀や福岡を中心とする北部九州でしか発見されていない特徴的な方法です。こうして組み合わされた甕棺の大きさは、長さ約2mにもなります。



土坑墓 (1000年前)



甕式石棺墓 (4000年前)



木棺墓 (1000年前)



さまざまな説明がなされている



土坑墓



箱式石棺墓



木棺墓



壙棺墓

墳丘墓

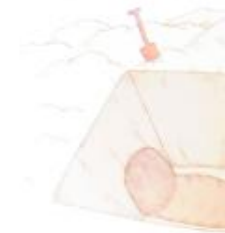
甕棺墓

木棺墓

石棺墓



1. 墳丘の頂部から土を掘り出し、
さらに掘り進めると土の中から

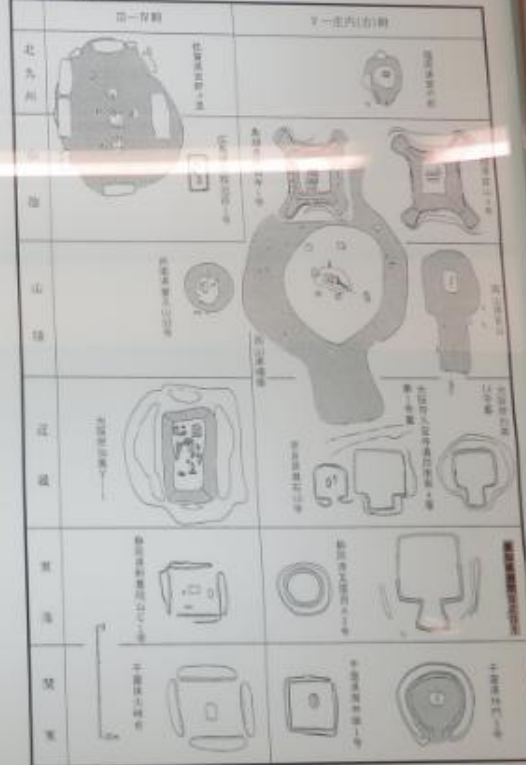


墳丘墓くらべ

弥生時代の墳丘をもつ墓は、古墳時代の古墳と区別して「墳丘墓」と呼ばれています。墳丘墓という墓の形式は、弥生時代前期末に畿内を中心に方形周溝墓と呼ばれる低墳丘墓が出現しはじめ、北部九州でも墳丘や溝で区画された墓が弥生時代中期には出現しています。弥生時代中期後半以降には、方形周溝墓は畿内から東海、北陸に順次広がりをみせ、山陰地方では、四隅突出型墳丘墓など異なる形の墳丘墓が現れますが、吉野ヶ里遺跡の北墳丘墓は、まだ類例の少ない弥生中期のはじめに、国内では他の地域の墳丘墓よりもはるかに大きい規模で築造されています。やがて、古墳時代に入ると墓の形式が前方後円墳に代表される全国共通の形式に変わり、ひとつの勢力に統括されていきますが、この弥生時代には、勢力を持った集団が各地に存在していた事がうかがえます。

※弥生時代の墳墓は、このような墳墓形態に加えて、副葬品の有無、特定個人墓の性格の強弱等、地域や時代により特色がみられます。これらは、各社会の仕組みや古墳時代へ至る歴史展開を物語る資料のひとつとして研究され続けています。

各地の墳丘墓





方形周溝墓（大阪市加美遺跡 Y-1 号墳）

財団法人大阪市文化財協会 提供

四隅突出型墳



城市文化財協会 提供



四隅突出型墳丘墓（島根県宮山4号墳）



島根県教育委員会 提供

弥生墳丘墓（岡山県）



会 提供

弥生墳丘墓（岡山県楯築遺跡）

倉敷埋蔵文化財センター 提供

前方後円墳



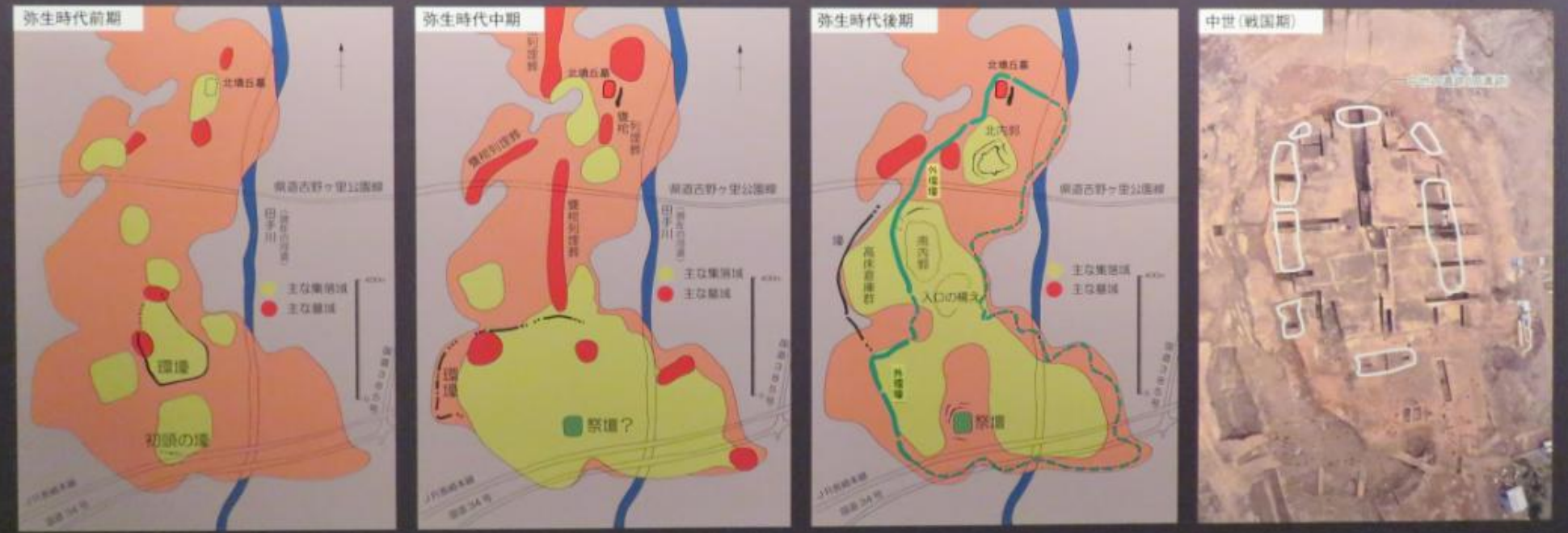
財センター 提供



前方後円墳（奈良県箸墓古墳）

桜井市教育委員会 提供

- 平成元年3月2日 佐賀県教育委員会により北墳丘墓の発掘が開始される。その日のうちに有柄銅剣・ガラス管玉が出土する。
- 平成元年3月7日 香月熊雄佐賀県知事が史跡指定を国に働きかけ、遺跡を保存し活用する事を表明。
- 平成2年5月 史跡指定。
- 平成3年5月 特別史跡指定。
- 平成4年10月 「国営吉野ヶ里歴史公園」の設置が閣議決定される。
- 平成13年4月21日 国営・県営吉野ヶ里歴史公園第1期開園。



甕棺墓のレプリカ



当時の思想や生死観 墓地から祭祀の対象に

弥生時代中期につくられた墳丘墓は、のちに祭祀空間として扱われるようになります。弥生時代後期後半から終末期の吉野ヶ里の集落構造をみると、一番北にある祖霊の霊を祀る北墳丘墓と、一番南にある厩に関する祭りを行ったとされる祭壇とを結んだ線上に、祠堂と北内郭内にある主祭殿（祭りの中心施設）とがきれいに並んでいる事がわかります。さらに南軸約 60km 先にいくと雲仙岳にあたります。当時の祭りの中心施設と考えられている主祭殿は、この軸線上に建てられていることから、北墳丘墓はクニの社会基盤を構成する重要な施設になっていたことがうかがえます。

また、墳丘墓前には、先祖の霊が宿る宗教的シンボルと考えられる立柱、墓道、祠堂（お祈りの場所）が設けられていたことが分かっています。墓道からは、祭祀に使われた筒型器台や高坏などの祭祀用の土器が多数出土しており、この場所が吉野ヶ里の祭祀には特別な場所であったことがうかがえます。ここで行われた祭事は、祖霊の託宣・神託によって社会が導かれるという当時の精神生活を現した興味深い事象といえます。

※北内郭に関しては、この聖なる軸線の他、その形が左右対称であり、その中心線が太陽の運行線（夏至の日の出と冬至の日没を結ぶ線）に合っているとされています。



類似事例の紹介（鳥栖市楯比本村遺跡）



よしの が り い せ き ふんきゅうぼ 吉野ヶ里遺跡の墳丘墓

墳丘墓とは

弥生人たちは亡くなったら平らなところに墓穴を掘って次々と埋葬されますが、身分の高い人たちは、人力で土を積み上げて作られた小山のような「墳丘墓」と呼ばれる大きな墓に埋葬されました。次の古墳時代には前方後円墳など「古墳」と呼ばれる大きな墓が作られますが、弥生時代の墳丘墓はその起源ではないかと考えられています。

吉野ヶ里の墳丘墓は、弥生時代中期前半（紀元前2世紀）につくられ、中期前半から中期中頃（紀元前1世紀はじめ）までの吉野ヶ里の歴代の王（首長）を埋葬したのと考えられています。



発掘前の北墳丘墓（南から） 平成元年（1989）2月撮影

墳丘墓の発掘調査

吉野ヶ里遺跡の墳丘墓は、地元で「城」と呼ばれていたため、戦国時代の山城の一部ではないかと考えられていました。1989（平成元）年2月の確認のための調査で、人工の盛土の中から甕棺が現れ、弥生時代の墳丘墓であることが判明しました。墳丘墓の本格的な発掘は3月2日に始まりましたが、大きな素焼きの甕を用いた甕棺墓が7つ出土し、うち5つの甕棺墓から銅剣やガラスの管玉79点、布片、人骨や歯の破片などが発見されました。

また、1992（平成4）年の再調査では、新たに7基の甕棺墓が出土し、うち3つの甕棺墓から銅剣などが出土しました。

2回の発掘によって、大型の成人用甕棺墓が14基発掘され、銅剣8本や多数のガラス製管玉などが出土しました。

また、墳丘の盛土の仕方を
知るための断面調査もおこな
いました。



平成元年度



平成4年度

墳丘墓の発掘調査

平成元(1989)年度と平成4(1992)年度の発掘調査で、墳丘墓内では14基の喪棺墓が発掘され、銅剣8本、ガラス製管玉79点などが発見された。

平成元(1989)年3月～4月にかけての発掘調査では、版築様の人工盛土で築造された大規模な墳丘の内部から7基の喪棺墓を発掘し、SJ1002・SJ1005・SJ1006・SJ1007・SJ1009 喪棺墓から、把頭飾付き有柄銅剣をはじめとする細形銅剣5点、青銅製把頭飾1点、ガラス製管玉79点、絹布片、被葬者2人の人骨や歯の破片などが出土した。この時の調査は主に墳丘の形態と構築の方法を把握することに主眼をおいたものだったが、調査の結果、墳丘は南北約40m、東西約27mの長方形にちかい平面形態で、工法的には幾種類かの土を版築様に盛り上げたことが判明し、高さも本来4.5m以上の大規模なものであったと推定された。

平成4年9月から平成5年2月にかけて実施した、墳丘墓の全容解明を目的とした調査では、墳丘頂部の南北28m、東西18m範囲の周囲は、中世(15～16世紀)の山城築造によって削り取られたらしいことが判明し、高く残った部分についても、昭和30年頃の畑地開墾によって削平を受けていることが明ら

かになった。この時の発掘調査では、新たに7基の喪棺墓が発見され、このうち、南東部に位置するSJ1054・SJ1056・SJ1057 喪棺墓の3基からは、銅剣3点と青銅製把頭飾1点、人骨片などが出土した。銅剣3点のうち、2点は細形銅剣であったが、把頭飾を共伴したSJ1057 喪棺墓出土のものは中細形のものであり、切先部分が欠失していた。棺内から副葬品などの遺物が出土しなかった他の5基の喪棺墓は、昭和の開墾によって棺内まで破壊されたものがほとんどであり、これらの喪棺墓に銅剣などが副葬されていたかは不明である。しかし、昭和51(1976)年に発見された、宝剣社の石祠(神埼市鶴)に納められていた「宝剣社の銅剣」や、戦後間もなく発見された「吉野ヶ里出土銅剣」は、吉野ヶ里丘陵出土が伝えられており、墳丘墓内の喪棺墓に副葬された銅剣の可能性もある。

その後、墳丘墓は、遺構保護のために埋め戻されていたが、平成19(2007)年に埋め戻した土を除去し、露出した遺構や喪棺には保存強化処理を施し、喪棺を再び埋置して、発掘調査当時のすがたを蘇らせ、平成20(2008)年2月に一般公開するに至った。

韓国 海南 郡谷里遺跡：ガラス管玉 1 点出土

韓国 唐津 素素里遺跡：ガラス管玉 2 点出土

中国東北地方：ガラス管玉 4~5 点出土

韓国 扶餘 合松里遺跡：ガラス管玉 8 点出土

韓国 公州 鳳安里遺跡：ガラス管玉 1 点出土

韓国 長水 南陽里遺跡：ガラス管玉 4 点出土

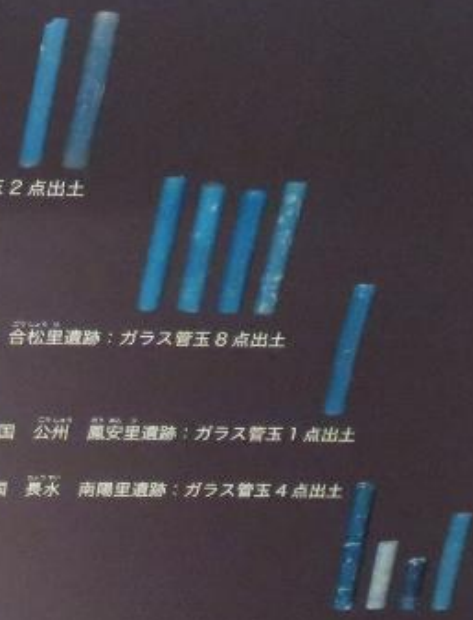
福岡 糸島市三雲南小路遺跡：有柄銅剣出土

山口 長門市尚津貞本銅安佐遺跡：有柄細形銅剣出土

佐賀 唐津市宇木鶴崎遺跡：有柄銅剣出土 佐賀県立博物館 所蔵

佐賀 唐津市柏崎遺跡：触角式柄頭銅剣出土 東京国立博物館 所蔵

佐賀 吉野ヶ里遺跡：ガラス管玉 79 点、有柄銅剣出土



これは背後で北墳丘墓を少し退いて見たところ



さて、いよいよ古代の原ゾーンへと進み甕棺墓列を見てみよう



少し進むと、説明坂が立っている



甕棺墓列

Kamekan boretsu (burial jar graves)
 甕棺묘열
 甕棺墓列

甕棺は、日本では弥生時代の北部九州に特色的なお墓です。

吉野ヶ里遺跡全体では、これまでに、約3,000基を超える甕棺が確認されており、そのうち、この墓列では1,000基以上に及びます。この場所の特徴として、中央に墓道を設けるように、二列に甕棺が埋葬されています。

Kamekan means a distinctive coffin found only in northern Kyushu from the Yayoi period in Japan. Over 3,000 kamekan have been found in the whole Yoshinogari ruins so far, including over 1,000 which are buried here. This field is characterized by kamekan arranged in 2 lines allowing a path in the middle.

甕棺이란 관을 말하며 일본에서는 야요이 시대의 북부규슈에서만 볼 수 있었던 독특한 것입니다. 요시노가리유적 전체적으로는 지금까지 약3000기가 넘는甕棺이 확인되고 있고 그 중 이 묘열에서는 1000기 이상에 달합니다. 이 장소의 특징으로서 중앙에 묘의 길을 준비하듯이 2열로甕棺이 매장되어 있습니다.

甕棺即为棺材，是在日本仅在弥生时代的九州北部才能见到的具有特色的遗物，在整个吉野里遗迹中至今已发现的有超过3,000个的甕棺，其中该墓列拥有1,000个以上甕棺。

该墓群的特征是被埋葬的甕棺排成2列，在中间设有墓道。



二列埋葬墓地的空撮写真

列状を基本としながら、血縁関係のある一族ごとに、ひとかたまりのグループとなるように埋葬されています。

Air photo of 2-line burial ground

Graves are in principle arranged in two lines, while members of the same family are buried as a group.

甕棺묘열의 항공 사진

甕棺묘열을 기본으로 하면서 혈연관계에 있는 일족마다 한 덩어리의 집단이 되도록 매장되어 있습니다.

二列埋葬墓地的航空攝影照片

以有血緣關係的家族為墓群，主體呈兩列狀排列。



墓列平面圖 Top view of grave lines
 묘열 평면도
 墓列平面圖



貝の腕輪をした人骨

この小児の人骨の腕には、奄美諸島以南でしか採れない貝を用いた腕輪が付けられています。

Human bone with a shell bracelet

This infant bone had a bracelet made of shells only found in Amami Islands and areas farther south.

조개 팔찌를 한 인골

이 어린이 인골의 팔에는奄美제도 이남에서만 할 수 있는 조개를 사용한 팔찌가 장착되고 있습니다.

佩帶貝壳手鐲的人骨

兒童手腕上佩帶手鐲只有奄美諸島以南才可採到的貝壳制作的。



頭骨がない人骨

頭骨が切りとられた状態で埋葬された人骨です。

Human bone without head

This person was buried without head.

머리부분이 없는 인골

머리부분이 없는 상태로 매장되어 있던 인골입니다.

无头人骨

無頭葬的无头状态人骨。



石棺墓

吉野ヶ里遺跡の墓は、甕棺墓が圧倒的に多いのですが、この場所では平石でつくられた石棺墓があります。写真の墓は内面に朱が塗られています。

Sekkan-bo

Kamekan graves are dominant in Yoshinogari ruins, while sekkan-bo made of flat stones are found in this area. This grave is lacquered in vermilion inside.

석관묘

요시노가리유적의 묘는甕棺묘가 압도적으로 많지만 이곳에서는 평석한 돌로 만든 석관묘가 있습니다. 사진의 묘는 안쪽에 붉은 색으로 칠해져 있습니다.

石棺墓

吉野里遺跡の坟墓中大多是甕棺墓，但是，这里有用平石做的石棺墓，照片的墓内壁涂有朱红色涂料。



土こう墓

土を掘り下げただけの土こう墓も、確認されました。

Doko-bo

Doko-bo, simple hole-shaped grave, also been found in the ruins.

토갱묘

흙을 파고 만든 토갱묘도 확인되었습니다.

土坑墓

此外，还发现仅靠挖土修建的土坑墓。

前方の低い小さなマウンドが甕棺墓列



甕棺が露出展示されている



いちぞく あつ 一族の集まり

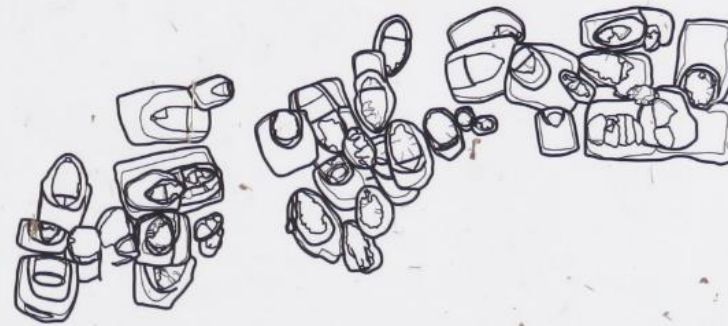
Gathering of a group
일족의 집단
家族墓群

ちょうだい ほれつ み ほれつ なが
長大な墓列もよく見ると墓列の長さ
が、おおむね長さ 20m から 40mご
とに、ひとかたまりとなっています。
けつえん かんけい いちぞく あつ かんが
血縁関係のある一族の集まりと考えら
れています。

Looking closer at the huge site, you can see grave lines are made into groups in the lengths of 20 to 40 meters, very possibly, for each family.

장대한 묘열도 자세히 보면 묘열의 길이가, 약 길이 20m에서 40m 마다 한 덩어리로 되어 있습니다. 혈연관계에 있는 일족의 집단으로 생각되고 있습니다.

仔细观察长大的墓列，可发现墓列约以 20m 至 40m 长度为一群。据推测是有血缘关系的家族墓群。



かめかん いち しめ へいめんす
墓棺位置を示す平面図
Top view of Kamekan arrangement
옹관 위치를 나타내는 평면도
表示瓮棺埋葬位置的平面图

かめ かん まい そう ほう ほう 甕棺の埋葬方法

Burial method of kamekan
옹관의 매장방법
瓮棺埋葬方法

じめん ふか ていど あな ほ さき そ かめ いたい
地面に深さ 2m 程度の穴を掘り、先に据えた甕に遺体
おさめ、もうひとつのかめ ふたをあわせ目
にはねんどめばりをして、うもどかんが
ています。さらに土まんじゅうで目印を作ったと考えら
れています。

Two jars were used to make kamekan, one to put the body in and another to cover the top as a lid. Ground was dug roughly 2 meters, and kamekan was buried in the hole after the joint part was seamed with clay. It is thought that a burial mound was made and used to mark each kamekan.

지면에 깊이 2m 정도의 구멍을 파고 먼저 넣은 항아리에 시신을 넣어 다른 항아리로 뚜껑을 덮고 합친부분을 점토로 붙혀 매장하였다고 생각됩니다. 그리고 토분으로 표시를 만들었다고 생각됩니다.

据推测在地面挖约 2m 的深坑，先将遗体安放在一个瓮里，之后将另一个瓮盖在上面，用粘土封住两个瓮的接缝处后埋葬，然后上面堆上土堆作为标识。



こちらは土盛りがされている



こんな塩梅



甕棺をアップで見るところ



振り返った反対方向も同様



その先もこんな塩梅



さて、中のムラ方向へ戻ろう/正面の建物は中のムラの倉庫群/左前方の城柵の向こうは北内郭



そこで左手前を見るとここにも甕棺墓がある/前方は北内郭



こんな塩梅





ここが中のムラの倉庫群/説明坂が立っている



なか そう こん 中のムラと倉庫群

Nakano (inner) Village and Storehouses 중간 마을과 창고군 中之村和仓库群

700 中のムラ
English 한국어 中

北内郭と南内郭の間にある地域を、中のムラと呼んでいます。ここでは、司祭者に仕える人達が、北内郭でのまつりごと(祭りや政治)の準備や、それに使うものを作りながら、暮らしていたと考えられています。また、倉庫群には、まつりなどの行事で使われる道具やお供え物、宝物などが収められていたのでしょう。



The area located between Kita-Naikaku (North Interior Palace) and Minami-Naikaku (South Interior Palace) is called Nakano (inner) Village. The area's residents are considered to be the priests' assistants. They prepared and made the items needed for events (festivals and political events). We can presume that tools used at such events, offerings and treasures were stored in the storehouses.

북대리와 남대리의 사이에 있는 지역을 중간 마을이라고 부릅니다. 여기에서는 사제를 섬기는 사람들이 북내곽에서 하는 정사제사와 정치의 준비나 정사에 사용하는 물건을 만들면서 살고 있었던 것으로 생각됩니다. 또한 창고군에는 제사와 같은 행사에서 사용되는 도구나 공물, 보물 등이 보관되었던 것으로 보입니다.

位于北内郭和南内郭之间的区域被称为中之村。负责供奉祭祀的人们居住在这里，并为北内郭的政务（祭祀和政治）准备、制作用于此类活动的物品。此外，仓库群用来存放用于祭祀等活动的器具和供品、珍宝等。

※各地区内にあるそれぞれの建築物などの図面は、推定ももつてお示ししています。
※この図面は、2019年10月現在のものです。最新の図面は、HPの「最新情報」ページをご覧ください。
©2020 大分県立歴史博物館



倉庫群



住居群



さて、正面のマウンドは入口ゾーン近くにある東墳丘墓



反対側から見たところ



参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/qbpb900/yoshinogari.html>

<http://yogokun.my.coocan.jp/kyushu/yosinogarimati.htm>

<http://kankodori.net/japaneseculture/site/054/index.html>

